

質問に対する回答について

工事名) 東北自動車道 栗原インターチェンジ工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	仮設落石防護柵の賃料Bについて、設置期間(29ヶ月)の内訳をご教授願います。	貴社の計画に基づき必要な費用を計上してください。
2	設計図-函渠工のP69では鋼矢板SP-4型となっていますが、特記仕様書P20の仮設材-特殊部Cでは普通鋼矢板Ⅲ型で記載されています。相違があると思われまますので、ご確認願います。	構造物掘削 特殊部Cの鋼矢板の材料規格については設計図に示す通りとなります。なお、交付図書の一部に不備がありましたので訂正致します。 (1月26日掲載予定)
3	施工地域による補正は、「一般交通影響あり(1)」と考えてよろしいでしょうか。	共通仮設費及び現場管理費の率の補正には、一般交通影響有り(1)が適用されます。
4	資材単価の採用年月をご教示ください。	積算にあたっては、貴社の計画に基づき必要な費用を計上してください。
5	割掛対象表参考内訳書-仮設材等運搬費において、鋼矢板・溝形鋼運搬距離63km(片道)とは、運搬距離が片道63kmであると言う事でしょうか。	その通りです。
6	割掛対象表参考内訳書-仮設材等運搬費-仮設落石防護柵においH形鋼(リース品)・壁面材(リース品)・覆工板(リース品)・運搬距離63km(往復)とは、運搬距離が往復63kmで片道では31.5kmと言う事でしょうか。	片道運搬距離は63kmとなります。なお、(往復)の記載は搬出入を含めた往復の運搬が必要なものを示しています。

7	<p>割掛工事一支保工費における数量内訳をご教示下さい。</p>	<p>支保工費の数量内訳について、以下の通りとなります。</p> <p>【くさび結合支保工】</p> <p>築館 24 存置日数：47日 55.7 空 m3</p> <p>築館 24 水路部 存置日数：47日 15.8 空 m3</p> <p>築館 24-1 存置日数：47日 203.1 空 m3</p> <p>築館 24-1 水路部 存置日数：47日 46.0 空 m3</p> <p>Eランプ橋（下部工）A1 橋台 存置日数：47日 108.0 空 m3</p> <p>Eランプ橋（下部工）A2 橋台 存置日数：47日 108.7 空 m3</p> <p>後沢橋（下部工）A1 橋台 存置日数：47日 15.1 空 m3</p> <p>後沢橋（下部工）A2 橋台 存置日数：47日 15.1 空 m3</p> <p>なお、交付図書の一部に不備がありましたので訂正致します。</p> <p>(1月26日掲載予定)</p>
8	<p>後沢橋（下部工）の数量総括表には構造物裏込め工 裏込め A の数量の記載がありますが、数量明細書には記載がありません。別途協議と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>設計図の数量総括表に示す数量は、対象構造物における裏込めAの仕上がり数量であり、裏込めAの数量は、特記仕様書26-2に示す通り、「道路掘削 土砂 C」に計上しており、積算にあたっては、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。</p>
9	<p>数量明細書の 2-(7) 構造物裏込め工-裏込め工 B について、E ランプ橋（下部工）の数量が 970.5m³ となっていますが、図面番号 1/52 の数量総括表では A1 橋台 A2 橋台合計で 2550.1m³ となっています。どちらが正しいのでしょうか。</p>	<p>令和5年1月10日掲載書の回答番号2の回答の通りです。</p>

10	数量明細書の 2-(7) 構造物裏込め工-裏込め工 B の函渠工の数量について、図面内の数量表に記載の築館 24 で 238.8m ³ 、築館 24-1 で 1303.4m ³ 、築館 25 で 105.8m ³ 分の記載がありません。別途協議と考えてよろしいでしょうか。	番号9の回答事項に同じです。
11	特記仕様書の 26-7 コンクリートブロック積工の 26-7-5 支払に裏込め砕石の費用も含むとありますが、裏込め砕石の費用は数量明細書 4-(16)の数量に含まれているのではないのでしょうか。ご教示ください。	裏込め砕石の費用は数量明細書 4-(16)の数量に含まれております。なお、交付図書の一部に不備がありましたので訂正致します。 (1月26日掲載予定)
12	数量明細書の 5-(1)用・排水溝の小段排水フリューム K(1)-Bf-0.300-0.200(10)において、張コンクリート厚は 10mm と考えてよろしいでしょうか。それとも用排水構造物標準設計図集 132-1 では一般地域 50mm、寒冷地域 100mm を基準との記載がありますので 100mm のことと考えるのでしょうか。	土木共通仕様書5-4「用排水構造物工」に記載の通りです。
13	数量明細書の 5-(1)用・排水溝のプレキャストコンクリートU型タテ溝 Dv-0.24-0.24(10)において、張コンクリート厚は 10mm と考えてよろしいでしょうか。それとも用排水構造物標準設計図集 131 では一般地域 50mm、寒冷地域 100mm を基準との記載がありますので 100mm のことと考えるのでしょうか。	番号12の回答事項に同じです。
14	数量明細書の 5-(1)用・排水溝の C-PBx-1.800-1.00 について、築館 24 におけるプレキャストボックスカルバート T-25 の数量表がありません。敷モルタル・コンクリート・型枠の数量をご提示ください。	数量は以下の通りとなります。 敷モルタル(1:3) 1.0m ³ コンクリート(D1-1) 8.1m ³ 型わく(D) 7.7m ² なお、交付図書の一部に不備がありましたので訂正致します。 (1月26日掲載予定)

15	<p>数量明細書の 5-(3)集水ます Type M について、築館 24 における集水ますの数量表がありません。コンクリート・型枠・鉄筋・グレーチング蓋・足掛金物の数量をご提示ください。</p>	<p>数量は以下の通りとなります。</p> <p>【STA. 484+72. 55】</p> <p>コンクリート (B1-3) 3. 7m³ 型枠 (D) 25. 4m² 鉄筋 D13 158 kg グレーチング蓋 (T-2) 1 個 足掛け金物 4 本-D16×800</p> <p>【STA. 484+81. 00】</p> <p>コンクリート (B1-3) 4. 2m³+ 型枠 (D) 30. 3m² 鉄筋 D13 182 kg グレーチング蓋 (T-2) 1 個 足掛け金物 4 本-D16×800</p> <p>なお、交付図書の一部に不備がありましたので訂正致します。 (1月26日掲載予定)</p>
16	<p>数量明細書の 17-(31)はく落防止対策工 A87. 7m² について、築館 25 の図面番号 46/70 及び 48/70 にはく落防止対策工 A7. 0m² の記載がありますが、数量表には記載がありません。別途協議と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>特記仕様書 26-24 「プレキャストボックスカルバート」に記載の通りです。</p>

<p>17</p>	<p>油水分離ます P-STC9-φ1.80-3.60の放流ます及び整流ますについて型枠及びコンクリートの数量の記載がありませんが、当該製品はプレキャスト製品と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>放流ます及び整流ますは現場打ちとなり、数量は以下の通りとなります。</p> <p>【E-STA.1+75.3】</p> <p>コンクリート (B1-3) 整流ます 4.5m³ 放流ます 3.0m³</p> <p>型枠 (D) 整流ます 42.6m² 放流ます 27.5m²</p> <p>足掛け金物 材質 (SWCH12R) W=300 整流ます 8本 放流ます 3本</p> <p>基礎材 (B) 整流ます 1.5m³ 放流ます 1.3m³</p> <p>【STA.484+68.4】</p> <p>コンクリート (B1-3) 整流ます 4.5m³ 放流ます 3.0m³</p> <p>型わく (D) 整流ます 42.6m² 放流ます 27.5m²</p> <p>足掛け金物 材質 (SWCH12R) W=300 整流ます 8本 放流ます 3本</p> <p>基礎材 (B) 整流ます 1.5m³ 放流ます 1.3m³</p> <p>なお、交付図書の一部に不備がありましたので訂正致します。 (1月26日掲載予定)</p>
<p>18</p>	<p>(割掛対象表参考内訳書 支保工費について) 割掛対象表参考内訳書 支保工費については数量の記載がありません。他の項目は全て数量の記載があります。記載漏れでしたら、数量のご教示をお願いいたします。</p>	<p>番号7の回答事項に同じです。</p>